

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

京丹後市

2. 平成29年度 京都市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について

支援区分	事業名・実施項目								
公共施設マネジメント	橋梁長寿命化対策事業								
事業着手前									
課題・現状	本市では1970年代に建設された橋梁が多く、これから約20年後には約8割の橋梁が老朽橋の目安となる「建設から50年」を超えることとなり、修繕費や架替費の集中・増大が見込まれる。 従来の事後的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換することにより、道路交通の安全性を確保するとともに、修繕の費用や架替にかかる費用の縮減、予算の平準化を図っていく必要がある。								
事業概要	長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の損傷や変状を早期に発見し、健全性を診断するとともに、橋梁の効率的な維持管理に必要な情報を得るため、橋梁点検を実施し、橋梁の状況を早期かつ的確に把握し、計画的に補修を実施する。								
期待される事業効果等	今後、老朽化により修繕や架替費用の増大が予測される橋梁について、点検・診断結果に基づき、必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的に実施することで、道路交通の安全性を確保するとともに、修繕や架替にかかる費用などの長期的なライフサイクルコストの縮減を図ることが可能となる。								
事業実績									
取組状況	長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の損傷や変状を早期に発見し、健全性を診断するとともに、橋梁の効率的な維持管理に必要な情報を得るため、橋梁点検を実施し、橋梁の状況を早期かつ的確に把握し、計画的に補修を実施した。								
主な実績数値 (出来高数値等)	橋梁点検数: 218橋								
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)	平成29年度に予定していた橋梁点検を実施することにより、修繕費用や架替にかかる費用を把握し、計画的な修繕へとつなげることができた。						
事業効果									
事業効果の考え方	点検・診断結果に基づき、必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的に実施することで、道路交通の安全性を確保するとともに、修繕や架替にかかる費用などの長期的なライフサイクルコストの縮減を図ることができる。								
年度	H29	H30	H31	H32	H33				
行革前(a)	490,000	490,000	490,000	490,000	490,000				
行革後(b)	92,696	90,000	90,000	90,000	90,000				
効果(a)-(b)	397,304	400,000	400,000	400,000	400,000				

(記載要領)

単位: 千円

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。